

にほんご  
こどものための やさしい日本語

ぼうさいはんどうぶっく  
**防災ハンドブック**



わかやまだいがく  
**和歌山大学**

がいこく こ しえんぶろじえくと  
**外国につながる子どもへの支援プロジェクト**

# はじめに

にほん　さいがい　おお  
日本は 災害が とても 多いです。

わかやま　まいとし　おおあめ　たいふう　お　ひがい　で  
和歌山では、毎年 大雨や台風が 起きて 被害が 出ています。

また、これから 大きな 地震が 来るかも しません。

はん　ど　ぶ　つ　く　よ  
この ハンドブックを 読んで おいて ください。



- ① 日ごろから 近所の 避難場所（逃げるところ）と 逃げ道を  
かくにん 確認して おいて ください
- ② 慌てないで、落ち着いて 逃げて ください
- ③ 近くの 人と 協力して 行動して ください

# ひ 日ごろの そな 備え

ひなんじょ に  
避難所（逃げる ところ）での 生活や、

ていでん でんき と  
停電（電気が 止まること）や

だんすい みず と  
断水（水が 止まること）に 備えて、

ようい  
用意して ください



## ひつよう りすと **必要なものリスト**

### 1: 食べ物

みず 水 すぐ食べられるもの

### 2: 大切なもの

みぶんしょめいしょ ほけんしょう ざいりゅうかーど  
身分証明書（保険証、在留カード）

くすり 薬 ぎんこうつうちょう 銀行通帳 いんかん 印鑑 かね お金

### 3日分の 水と 食べ物



### 3: 着るもの

くつ 靴 くつした 靴下 したぎ 下着 うわぎ 上着

### 4: 日用品

かいちゅうでんとう けいたいでんわ じゅうでんき かんでんち  
懐中電灯 携帯電話 充電器 乾電池

ますく ぐんて たおる びにーるぶくろ  
マスク 軍手 タオル ピニール袋

ていっしゅ べん めも せいりょうひん  
ティッシュ ペン メモ 生理用品



じしん お とき  
地震が 起きた 時一

■倒れてくる ものや、上から 落ちてくる ものに 気をつけて ください

て 一 ぶる つくえ した はい あたま からだ まも

■テーブルや 机の 下に 入って、頭と 体を 守って ください

ゆ と ど あ あ

■揺れが止まったら、ドアを 開けて ください

ひ が す け

■火や ガスを 消して ください

に とき  
逃げる 時一

たいせつ もの も ある に  
■大切な 物だけを 持って、歩いて 逃げて ください

え れ ベ ー た 一 つか かいだん つか

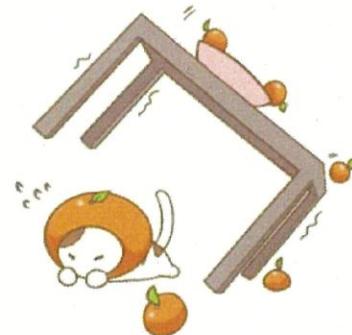
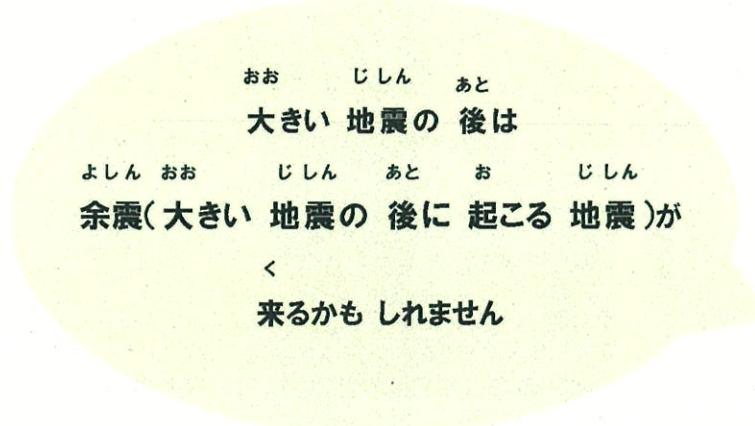
■エレベーターは 使わないで、階段を 使って ください

おお じしん あと つなみ たか なみ く

■大きい 地震の 後は、津波（とても 高い 波）が 来るかも しません

うみ かわ はな たか ところ に

すぐに 海や 川から 離れて、高い 所に 逃げて ください



# たいふう 台風



たいふう ちか とき

## 台風が 近づいて 来た 時一

にゅーす いんたーねつと み

### ■ニュース・インターネットを 見て ください

がらす はへん と かーでん し

### ■ガラスの 破片が 飛ばない ように、カーテンを 閉めて、

まど てーぶ は

### 窓に テープを 貼って ください

つよ かぜ と いえ なか かたづ

### ■強い 風で 飛ばされそうな ものを、家の 中に 片付けて ください

きけん とき はや ひなんばしょ に

### ■危険な 時は、早めに 避難場所（逃げるところ）に 逃げて ください

あめ

ふ

## 雨が たくさん 降ると、

やま がけ くず

### ①山や 崖が、崩れる ことが あります



かわ みず ふ あふ

### ②川の 水が 増えて、溢れる ことが あります

ひ

じぶん

## 日ごろから、自分の まわりの

きけん ばしょ しら

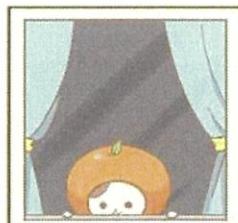
### 危険な 場所を、調べて おいて ください

いえ なか みず はい

## 家の 中に 水が 入って きたら、

たか に

### 高い ところに 逃げて ください



# かじ 火事



かじ お とき  
**火事が 起きた 時一**

かじ おお こえ い  
**■「火事だ！」と 大きな 声で 言って、**

ちか ひと おし  
**近くの 人に 教えます**

かさいほうちき ぼたん お  
**■火災報知機の ボタンを 押して ください**

でんわ  
**■119に 電話を します**

しょうかき つか ひ け  
**■消火器を 使って、火を 消して ください**

# かさいほうちき 火災報知機



かじ み  
**火事を 見つけたら**

ぼたん お  
**ボタンを 押します**

# はん 119番のかけかた



かじ とき しょうほうしょ でんわ  
**★火事の時、消防署へ 電話を します**

ばしょ かじ

① 「(〇〇:場所) で火事です」

も

② 「〇〇が燃えています」

わたし なまえ

③ 「私の名前は〇〇です」

でんわばんごう

④ 「電話番号は〇〇です」

たげんごつうやく

さーびす

★多言語通訳の サービスも あります

ひと きゅうきゅうしゃ ひょういん

★けがを した 人を、救急車で 病院に

つ い とき

ばん でんわ

連れて 行く 時も、119番に 電話を します



しょうかき つか かた  
**消火器の使い方**



① ピンを抜く

② ホースの先を火の下に向ける

③ レバーを強く握る



※ 消火器は 火が小さい時だけ 使います

火が強すぎるとき  
天井に火がついているとき

すぐ外に逃げてください

けむり に とき  
**煙から逃げる時一**



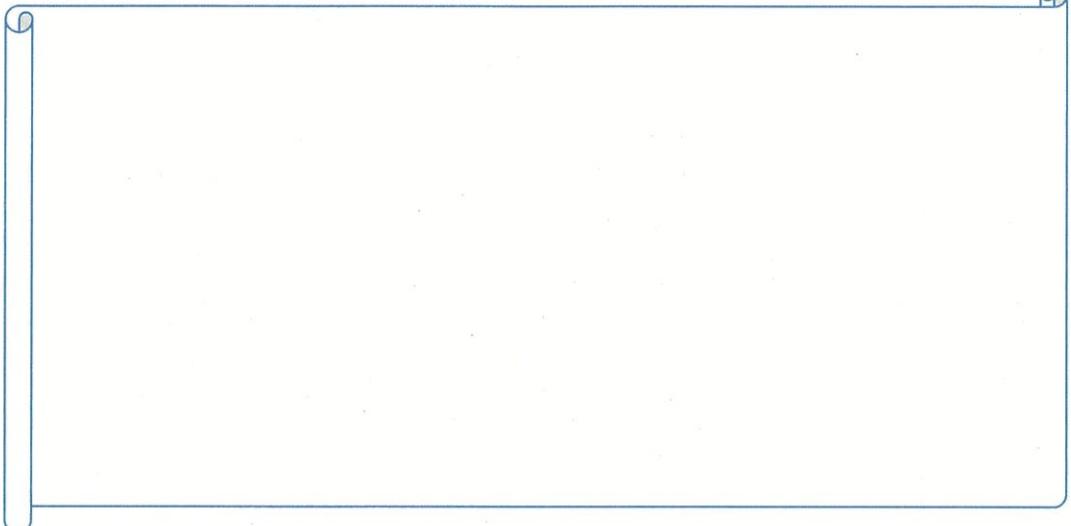
■ 姿勢を低くしてください

ぬぬのたおるはんかちくちはなおお  
**■ 濡れた布(タオル・ハンカチ)で口や鼻を覆ってください**

えれべーたーつか かいだんつか  
**■ エレベーターは使わないで、階段を使ってください**



ひなんばしょ  
■避難場所（逃げるところ）と 逃げ道を 調べて、  
にげみち しら  
か  
書いて ください



きしょうちょう ほーむペーじ たげんご  
■気象庁のホームページ（多言語）



たげんご じょうほう  
多言語での 情報が あります

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

いっぽんざいだんほうじん じちたいごくさいかきょうかい くれあ ほーむペーじ  
■一般財団法人 自治体国際化協会（クレア）の ホームページ

たげんごせいかつじょうほう たげんご きんきゅう さいがいじょうほう  
多言語生活情報（多言語での 緊急・災害情報が あります）

<http://www.clair.or.jp/tagengo/>



ぼうさい  
■あがら防災

わかやまだいがく ぼうさいかんれんぶろじょくと さくせい ほーむペーじ  
(和歌山大学の 防災関連プロジェクトで 作成した ホームページ)

わかやまけんない ひなんばしょ じょうほう  
「和歌山県内の 避難場所」などの 情報が あります

<http://agara-bousai.jp/>



おお さいがい おこる でんわ つな

**大きな 災害が 起こると、電話が 繋がり にくいです。**

さいがいようでんごんばん

さいがいようでんごん だい やる

つか

**災害用伝言板 (web171) や災害用伝言ダイヤル (171) を 使うと**

さいがい ひと めっせーじ のこ

**災害に あつた人が メッセージを 残して、**

かぞく ともだち めっせーじ き

**家族や 友達が そのメッセージを 聞くことが できます。**

ひがしにほん にしにほん さーびす

**(NTT東日本・西日本のサービスです)**

さいがいようでんごんばん

いんたーねっと

### ■災害用伝言板 (web171)

### 【インターネット】

にほんご えいご かんこくご ちゅうごくご

**※日本語・英語・韓国語・中国語**

ぶんしょう めっせーじ のこ

**文章で メッセージを 残します**



<https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/>

さいがいようでんごん だい やる

つか かた

でんわ

### ■災害用伝言ダイヤル (171) の 使い方

### 【電話】

じぶん めっせーじ のこ  
**自分が メッセージを 残す**

めっせーじ きく  
**メッセージを 聞く**

① 「171」に 電話する

① 「171」に 電話する

② 「1」を 押す

② 「2」を 押す

③ 自分の 電話番号を 押す

③ 相手の 電話番号を 押す

××× ×××× ××××

××× ×××× ××××

④ 「1#」を押す(メッセージを残す)

④ 「1#」を押す(メッセージを聞く)

⑤ 「9#」を 押して 終わる





# 子どものためのやさしい日本語防災ハンドブック

## ■企画・執筆・編集・発行

和歌山大学 外国につながる子どもへの支援プロジェクト

長友文子 和歌山大学国際連携部門 教授

松下恵子 和歌山大学国際連携部門 特任助教

野村美雪 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 研究支援員

宮田果奈 和歌山大学観光学部 2回生

池内響弥 和歌山大学教育学部 2回生

姜楽宇 和歌山大学教育学部 研究生

Natasya Wanda Aryand 和歌山大学日本語・日本文化研修留学生

## ■わだにゃんイラスト担当

Natasya Wanda Aryand 和歌山大学日本語・日本文化研修留学生

## ■協力

宮定章 和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター 特任准教授

南出考 和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター 価値共創研究員

## ■発行日

2021年2月1日

## ■印刷製本

麦の郷印刷

外国につながる子どもへの支援プロジェクトは、和歌山大学紀伊半島価値共創基幹（Kii-Plus）の社会実装教育研究プロジェクトの一環であり、令和2年度地域活性化推進研究プロジェクトにも採択されています。

このハンドブックは、令和2年度地域活性化推進研究プロジェクトの成果物として発行するものです。

